

リハビリテーション部

【教育】	
1. 到達目標	早期から専門分野に特化することなく幅広い分野のリハビリテーション医療を提供するために必要な知識と技術、人間性の向上を目指します。スタッフ教育では急性期のリハビリテーションに必要なリスク管理と評価・治療の考え方、実技を習得するための指導を行います。多種多様な疾患・病態に対応でき、患者様の視点に立った良質なリハビリテーションを提供できる人材育成を目指します。その後、希望するスタッフに対して大学院進学や各種認定資格の取得ができるよう支援することにより、より専門的な知識と技術の習得に努めます。学生の臨床実習については、養成校の指導方針に合わせて目標を定め、その達成に向けた指導を進めていきます。
2. 現状説明	新人教育プログラムを作成してスタッフ教育を行っていますが、幅広い疾患に対応するためには追加の指導を必要とすることが多く、その都度指導しながら教育を進めています。多くのスタッフが大学院進学や各種認定資格の取得ができています。
3. 点検・評価	新人教育プログラムには項目ごとにチェックをつけられるように作成し、その達成度を評価しています。
4. 目標・改善方策の達成度	新人教育プログラムを修了するまで指導を継続しています。その後、大学院卒業や各種認定資格を取得したスタッフも多く、意欲的に学習できています。現在も大学院に進学中のスタッフがおり、継続的にスタッフの学習が進んでいます。
【研究】	
1. 到達目標	整形外科の疾患、脳血管障害、中枢神経障害、内部障害のリハビリテーションに関する研究や、心臓リハビリテーション、ロボットリハビリテーション、スポーツ障害などに関する研究を行っております。今後も幅広い分野で研究を進めていきます。
2. 現状説明	限られた時間を有効に使いながら行っています。チーム内での情報共有を大切にし、臨床から研究へとスムーズに移行できるように工夫をしながら行っています。研究発表を行う際は予演会等を通してスタッフ教育を行っており、研究の方法や考え方を学べるように努力しています。
3. 点検・評価	研究テーマによっては部外スタッフからも意見をもらうようにし、多角的な視点で考察できるように配慮をしています。
4. 目標・改善方策の達成度	各種学会での発表や論文作成などが行えています。
【診療】	
1. 到達目標	多職種で連携しながら、エビデンスに基づいた幅広い分野のリハビリテーション医療を提供するために必要な知識と技術、人間性の向上を目指します。
2. 現状説明	特定の分野に特化した人員配置を行わず、幅広い疾患に対応できるよう配慮しています。心大血管リハビリテーションなど、専従・専任が必要な分野ではスタッフのローテーション方式を導入して対応しています。
3. 点検・評価	カンファレンスや症例検討会などで診療内容や質を確認しています。スタッフ全員が各種疾患別リハビリテーションに対応できています。がん患者リハビリテーションについては、各種疾患別リハビリテーションの対応が可能となってから研修を受講できるように配慮しています。
4. 目標・改善方策の達成度	年間多くの疾患別リハビリテーションに対応できており、がんのリハビリテーションについては療法士33名中20名が対応できるようになりました。
【社会貢献】	
1. 到達目標	リハビリテーション医療に関わる研修会や災害リハビリテーション研修会を主催し、県内外の医療従事者の研鑽の場を提供するとともに施設間の連携を強化することを目指します。災害時には多施設で連携し支援活動ができるようなネットワークづくりを目指しています。
2. 現状説明	毎年山形リハビリテーション研究会、山形災害リハビリテーション研修会を開催しています。災害時にはJRATと連携してスタッフの派遣を行っています。
3. 点検・評価	上記研究会や研修会に多くの施設から参加してもらっています。
4. 目標・改善方策の達成度	2019年の豪雨におけるJRAT活動など、多施設で共同してリハビリテーション支援を行いました。当院からも多くのスタッフが支援に参加しました。やまがたりリハビリテーション研究会や、やまがたJRATの事務局も担当しています。

リハビリテーション部

業績分類	査読	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者 等	論題・章題・演題・学会賞名 等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月 等	Impact Factor ・ JIF QUARTILE (2021)	刊行状況	研究情報備考
1. 論文	(1)原著	査読有 Huang EE, Zhang N, Shen H, Li X, Maruyama M, Utsunomiya T, Gao Q, Guzman RA, Goodman SB	Novel techniques and future perspective for investigating critical-size bone defects.	Bioengineering (Basel). Apr 2022; 9(4):171. PMID: 35447731	IF=5.046, Q2	E Only	B
1. 論文	(1)原著	査読有 Huang EE, Zhang N, Ganio EA, Shen H, Li X, Ueno M, Utsunomiya T, Maruyama M, Gao Q, Su N, Yao Z, Yang F, Gaudillière B, Goodman SB	Differential dynamics of bone graft transplantation and mesenchymal stem cell therapy during bone defect healing in a murine critical size defect.	J Orthop Translat. Aug 2022; 36: 64-74. PMID: 35979174	IF=4.0889, Q1		B
1. 論文	(1)原著	査読有 Lui E, Maruyama M, Guzman RA, Moeinzadeh S, Pan CC, Pius AK, Quig MSV, Wong LE, Goodman SB, Yang YP	Applying deep learning to quantify empty lacunae in histologic sections of osteonecrosis of the femoral head.	J Orthop Res. Aug 2022; 40(8):1801-1809. PMID: 35765395	IF= 3.103, Q2		B
1. 論文	(1)原著	査読有 Matsubara Y, Nakamura Y, Tamura N, Kameda H, Otomo K, Kishimoto M, Kadono Y, Tsuji S, Atsumi T, Matsuno H, Takagi M, Kobayashi S, Fujio F, Nishimoto N, Okamoto N, Nakajima A, Matsui K, Yamamura M, Nakashima Y, Kawakami A, Mori M, Tomita T	A nationwide questionnaire survey on the prevalence of ankylosing spondylitis and non-radiographic axial spondyloarthritis in Japan.	Modern Rheumatology, Aug 2022; 32(5): 960-967. PMID: 35765395	IF=2.862, Q4		B
1. 論文	(1)原著	査読有 Nagase T, Takakubo Y, Yokoyama Y, Nagase S, Yang S, Honma R, Oki H, Ito J, Sasaki A, Takagi M	Progression of bone and joint destruction during the perinatal period in patients with rheumatoid arthritis and juvenile idiopathic arthritis in the last decade.	Cureus. May 2022; 14: e25396. doi: 10.7759/cureus.25396. PMID: 35765395		E Only	B
1. 論文	(1)原著	査読有 Ohe R, Yang S, Yamashita D, Ichikawa C, Saito A, Kabasawa T, Utsunomiya A, Aung NY, Urano Y, Kitaoka T, Suzuki S, Takahara D, Sasaki A, Takakubo Y, Takagi M, Yamakawa M, Futakuchi M	Pathogenesis of follicular thymic hyperplasia associated with rheumatoid arthritis.	Pathol Int. Apr 2022; 72(4): 252-260. PMID: 35147259	IF=2.121, Q3		B
1. 論文	(1)原著	査読有 Satake H, Naganuma Y, Honma R, Shibuya J, Maruyama M, Takagi M	The effect of elbow and forearm position on the resisted wrist extension test and incidence of sensory disturbance of the superficial radial nerve in patients with lateral epicondylitis.	J Hand Surg Asian Pacific Vol. Aug 2022; 27(4): 665-671. PMID: 35765395	IF=0.68, Q4		B
1. 論文	(1)原著	査読有 Satake H, Honma R, Nito T, Naganuma Y, Shibuya J, Maruyama M, Uno T, Takagi M	Midterm results of endoscopically assisted first rib resection in the zero-position for thoracic outlet syndrome.	Interact Cardiovasc Thorac Surg. Sep 2022; 35(4): ivac239. doi: 10.1093/icvts/ivac239. PMID: 36094365	IF=1.978, Q4		B
1. 論文	(1)原著	査読有 Satake H, Kura H, Naganuma Y, Honma R, Shibuya J, Nito T, Suzuki A, Takakubo Y, Ishigaki D, Takagi M	Assessment of the severity of curly toe.	J Orthop Sci. Nov 2022; 27(6): 1278-1282. PMID: 34503899	IF=1.805, Q3		B
1. 論文	(1)原著	査読有 Takahara M, Uno T, Maruyama M, Harada M, Mitachi R, Ono H, Satake H, Takagi M	Conservative treatment for stable osteochondritis dissecans of the elbow before epiphyseal closure: effectiveness of elbow immobilization for healing.	J Shoulder Elbow Surg. Jun 2022; 31(6): 1231-1241. PMID: 35247573	IF=3.507, Q2		B
1. 論文	(1)原著	査読有 Uno T, Mura N, Yuki I, Oishi R, Takagi M	Factors correlated with the optimal tension for arthroscopic rotator cuff repair using Grasper Tensioning Attachment.	J Shoulder Elbow Surg. May 2022; 31(5): e213-e222. doi: 10.1016/j.jse.2021.10.004. PMID: 34687919	IF=3.507, Q2		B
1. 論文	(1)原著	査読有 Uno T, Maruyama M, Satake H, Takakubo Y, Toyono S, Liu X, Hang H, Yuki I, Suzuki A, Mura N, Takagi M	Effectiveness of bone Marrow-Derived Platelet-Rich fibrin on rotator cuff healing in a rabbit degenerative model.	Am J Sports Med. Oct 2022; 50(12): 3341-3354. PMID: 35998037	IF=7.010, Q1		B

業績分類	査読	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者 等	論題・章題・演題・学会賞名 等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月 等	Impact Factor ・ JIF QUARTILE (2021)	刊行状況	研究情報備考
1. 論文	(1)原著	査読有 Wanezaki Y, Suzuki A, Takakubo Y, Nakajima T, Toyono S, Toyoshima S, Hariu M, Okada S, Ishikawa H, Takagi M	Evaluation of hindfoot and knee alignment by the hip-to-calcaneus view in patients with knee osteoarthritis and healthy individuals	JBJS Case Connect. May 2022; 18: 12(2). doi: 10.2106/JBJS.CC.22.00096. PMID: 36099502	IF=2.423, Q3		B
1. 論文	(1)原著	査読有 五十嵐貴宏, 高窪祐弥, 伊藤重治, 門馬亮介, 濱崎正康, 遠藤誠一, 大木弘治, 篠村友紀, 加藤義洋, 金内ゆみ子, 高木理彰	慢性腎臓病合併の大腿骨近位部骨折手術症例における骨癒合の検討.	東北整形災害外科学会雑誌. 2022年6月; 65(1): 30-32			B
1. 論文	(1)原著	査読有 伊藤重治, 門馬亮介, 高窪祐弥, 大木弘治, 佐々木幹, 石井政次, 高木理彰	人工股関節全置換術における Direct superior approach の導入と問題点の検討.	日本人工関節学会誌. 2022年12月; 52: 445-446			B
1. 論文	(1)原著	査読有 宇野智洋, 丸山真博, 高木理彰	多血小板フィブリン.	臨床雑誌整形外科. 2022年12月; 73(13): 1402			B
1. 論文	(1)原著	査読有 斎藤大三, 根本信仁, 高橋将輝, 三上諒樹, 根本信太郎, 嶋村之秀, 長沼靖, 田中賢, 長谷川浩士, 浅野多聞, 高木理彰	当院で治療を行った腹直筋血腫症例の検討.	東北整形災害外科学会雑誌. 2022年6月; 65(1): 49-52			B
1. 論文	(1)原著	査読有 佐竹寛史, 本間龍介, 丸山真博, 長沼靖, 渋谷純一郎, 仁藤敏哉, 菅原正登, 土屋登嗣, 橋本淳一, 高木理彰	手内筋に筋萎縮を生じた腕神経叢神経鞘腫は核出術によって麻痺が改善するか.	末梢神経. 2022年6月; 33(1):130-135			B
1. 論文	(1)原著	査読有 佐竹寛史, 仁藤敏哉, 本間龍介, 長沼靖, 丸山真博, 渋谷純一郎, 宇野智洋, 高木理彰	胸郭出口症候群の診断と治療の進歩.	別冊整形外科. 2022年10月; 82: 145-148			B
1. 論文	(1)原著	査読有 鈴木朱美, 高窪祐弥, 和根崎禎大, 中島拓, 豊野修二, 麻生正, 高木理彰	変形性足関節症に対する外側進入人工足関節全置換術の経験.	日本人工関節学会誌. 2022年12月; 52: 767-768			B
1. 論文	(1)原著	査読有 高窪祐弥, 伊藤重治, 門馬亮介, 鈴木朱美, 中島拓, 五十嵐貴宏, 佐々木幹, 大木弘治, 成田淳, 梁秀蘭, 石井政次, 高木理彰	過去 16 年間の関節リウマチ患者における人工関節手術件数の推移.	日本人工関節学会誌. 2022年12月; 52: 675-676			B
1. 論文	(1)原著	査読有 長瀬貴明, 伊藤重治, 門馬亮介, 高窪祐弥, 高木理彰	大腿骨転子部開放骨折に対して iMAP/iSAP を併用して内固定した一例.	Hip Joint. 2022年8月; 48:163-168			B
1. 論文	(1)原著	査読有 長瀬貴明, 高窪祐弥, 佐々木明子, 梁秀蘭, 長沼靖, 大木弘治, 大類広, 門馬亮介, 本間龍介, 和根崎禎大, 長瀬紗枝子, 高木理彰	エタネルセプト投与中に妊娠し出産した関節リウマチ患者の骨関節破壊の検討	関節の外科. 2022年12月; 49(3.4): 139-143			B
1. 論文	(1)原著	査読有 中島拓, 鈴木朱美, 豊野修二, 和根崎禎大, 山本尚生, 伊東貴史, 豊島定美, 福島重宣, 高木理彰	日本人健常ボランティアにおける coronal plane alignment of the knee classification (CPAK 分類) の検討.	日本人工関節学会誌. 2022年12月; 52: 311-312			B
1. 論文	(1)原著	査読有 濱崎正康, 伊藤重治, 門馬亮介, 高窪祐弥, 大木弘治, 佐々木幹, 石井政次, 高木理彰	山形大学式 polished tapered stem (Double Taper Polish ステム) の中期成績.	日本人工関節学会誌. 2022年12月; 52: 433-434			B
1. 論文	(1)原著	査読有 福島重宣, 山本尚生, 伊東貴史, 豊野修二, 中島拓, 鈴木朱美, 高木理彰	PSI を用いた Restricted Kinematic Alignment (r KA) TKA.	日本人工関節学会誌. 2022年12月; 52: 583-584			B
1. 論文	(1)原著	査読有 福島重宣, 山本尚生, 伊東貴史, 豊野修二, 中島拓, 鈴木朱美, 高木理彰	BCR TKA 5 年以上の成績.	日本人工関節学会誌. 2022年12月; 52: 223-224			B
1. 論文	(1)原著	査読有 福島重宣, 山本尚生, 伊東貴史, 豊野修二, 中島拓, 鈴木朱美, 高木理彰	Kinematic Alignment TKA におけるアライメントについて.	日本人工関節学会誌. 2022年12月; 52: 77-78			B
1. 論文	(1)原著	査読有 門馬亮介, 伊藤重治, 高窪祐弥, 大木弘治, 佐々木幹, 石井政次, 高木理彰	超高齢化社会を迎えた山形県特定機能病院における大腿骨頸部骨折の治療状況.	Hip Joint. 2022年8月; 48: 80-83			B

業績分類	査読	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者 等	論題・章題・演題・学会賞名 等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月 等	Impact Factor ・ JIF QUARTILE (2021)	刊行状況	研究情報備考
1. 論文	(1)原著	査読有 吉岡大樹, 福島重宣, 山本尚生, 伊東貴史, 鈴木朱美, 中島拓, 豊野修二, 和根崎禎大, 高木理彰	両側 TKA に対する Enhanced recovery after surgery (ERAS) の短期成績.	日本人工関節学会誌. 2022年12月; 52: 221-222			B
1. 論文	(1)原著	査読有 渡邊忠良, 大柴勝之, 松木宏史, 林雅弘, 佐竹寛史, 高木理彰	肘関節周辺骨端核の出現順序・変異に関する調査.	東北整形災害外科学会雑誌. 2022年6月; 65(1): 23-26			B
1. 論文	(1)原著	査読有 和根崎禎大, 鈴木朱美, 高窪祐弥, 中島拓, 豊野修二, 五十嵐貴宏, 麻生正, 高木理彰	人工膝関節全置換術前における足部・後足部評価.	日本人工関節学会誌. 2022年12月; 52: 519-520			B
1. 論文	(2)総説及び解説	査読有 原田幹生, 高原政利, 宇野智洋, 高木理彰	鉤状突起骨折に対する鏡視下整復固定術 (関節鏡補助手術).	整形・災害外科. 整形・災害外科. 2022年9月; 65: 431-435			B
1. 論文	(2)総説及び解説	査読有 鈴木俊	ロボットリハビリテーションを導入して	山形県作業療法士会誌. 2022. 3月; 20(1) : 47-50			
1. 論文	(3)症例報告	査読有 森大輔, 石川雅樹, 佐藤美香, 大森允, 高窪祐弥, 高木理彰	膠芽腫摘出後より生じたPusher症候群に対する理学療法経験 ~非麻痺側への重心移動練習により早期に改善が得られた症例~	山形理学療法学. 2023. 3月; 19 : 42-45			
1. 論文	(3)症例報告	査読有 浦山樹, 高窪祐弥, 石川雅樹, 佐藤美香, 大森允, 高木理彰	関節リウマチによる前足部障害患者に対する Quality of life改善への取り組み	山形理学療法学. 2023. 3月; 19 : 36-41			
1. 論文	(3)症例報告	査読有 川口昂希, 石川雅樹, 佐藤美香, 大森允, 高窪祐弥, 高木理彰	ヒト免疫不全ウイルス関連脳白質病変による進行性錐体路障害に対し誤嚥性肺炎の予防に向け介入した1例	山形理学療法学. 2023. 3月; 19 : 46-50			
1. 論文	(3)症例報告	査読有 Uno T, Honma R, Takahashi M, Satake H, Oishi R, Maruyama M, Takagi M	Combining cylindrical bone graft and headless screw fixation for nonunion of the medial trochlea of the elbow: A case report.	JBJS Case Connect. 2022 May; 18: 12(2). doi: 10.2106/JBJS.CC.22.00096. PMID: 36099502			B
1. 論文	(3)症例報告	査読有 石垣大介, 澁谷純一郎, 鈴木朱美, 高窪祐弥, 和根崎禎大, 佐竹寛史, 高木理彰	後脛骨筋腱脱臼1例.	日本足の外科学会雑誌. 2022 Aug; 43(1) : 265-267			B
1. 論文	(3)症例報告	査読有 高窪祐弥, 中島拓, 浅野多聞, 長瀬貴明, 梁秀蘭, 本間龍介, 豊野修二, 和根崎禎大, 五十嵐貴宏, 門馬亮介, 伊藤重治, 鈴木朱美, 佐々木明子, 高木理彰	抗IL-17A抗体製剤が著効した若年性脊椎関節炎の1例.	関節の外科. 2022年12月; 49(1) : 7-10			B
1. 論文	(3)症例報告	査読有 高橋将輝, 長沼靖, 田中賢, 根本信仁, 伊藤重治, 浅野多聞, 長谷川浩士, 嶋村之秀, 高木理彰	インプラント折損を生じた不安定型大腿骨転子間骨折の3例.	東北整形災害外科学会雑誌. 2022年6月; 65(1) : 119-123			B
1. 論文	(3)症例報告	査読有 長瀬紗枝子, 鈴木智人, 嶋村之秀, 赤羽武, 高木理彰	胸髄に発生した原発性中枢神経系悪性黒色腫に対してニボルマブとイビリムマブを併用した1例.	東北整形災害外科学会雑誌. 2022年6月; 65(1) : 64-67			B
1. 論文	(3)症例報告	査読有 三上諒樹, 根本信仁, 高橋将輝, 齋藤大三, 根本信太郎, 嶋村之秀, 長沼靖, 田中賢, 長谷川浩士, 浅野多聞, 高木理彰	大腿骨骨幹部骨折術後偽関節に対して高度短縮と回旋の変形を同時に矯正した1例.	東北整形災害外科学会雑誌. 2022年6月; 65(1) : 124-127			B
1. 論文	(4)著書	高木理彰	抗リウマチ薬製造販売後調査—生物学的製剤とJAK阻害薬を中心に—.	最新関節リウマチ学 (第2版). 東京: 日本臨牀社. 第80巻 増刊号4. 2022年4月: 305-312			
1. 論文	(4)著書	高木理彰	4章バイオマテリアル(摺動面・生体材料).1 ポリエチレン摩耗・オステオライシス.	人工股関節置換術. 東京: 南江堂, 2023年2月: 76-82			

業績分類	査読	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者等	論題・章題・演題・学会賞名等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月等	Impact Factor ・ JIF QUARTILE (2021)	刊行状況	研究情報備考
1. 論文	(4) 著書	高木理彰	『リウマチ病学テキスト(改訂第3版)』.	臨床雑誌整形外科. 東京: 南江堂, 2023年1月: (1): 84			
1. 論文	(4) 著書	高窪祐弥, 高木理彰	骨粗鬆症がある場合.	関節リウマチ治療 実践バイブル. 改訂第2版. 東 京: 南江堂, 2022年5月: 217-219			
1. 論文	(4) 著書	高窪祐弥, 結城一声, 本間龍介, 高木理彰	関節周囲の疾患(腱鞘炎, 腱付着部炎, 肩関節 周囲炎, 関節包炎).	関節リウマチの鑑別診断. 東京: 先端医学社, 2022年4月: 37-41			B
1. 論文	(6) 論文/国際学 会発表プロシー ディング(抄録 集)	査読有 Akabane T, Suzuki T, Konno Y, Sagae H, Takagi M	Analysis of risk factors for correction loss after percutaneous posterior spinal fixation for traumatic thoracolumbar vertebral fractures.-Usefulness of preoperative vertebral hounsfield unit measurement on CT images-	ORS 2023 Annual Meeting. Dallas: Feb 2023			B
1. 論文	(6) 論文/国際学 会発表プロシー ディング(抄録 集)	査読有 Hanqing H, Takakubo Y, Maruyama M, Uno T, Akabane T, Igarashi T, Takeda Y, Goodman SB, Takagi M	Analysis on autophagy-related molecules in macrophage subtype in the synovium of rheumatoid arthritis and osteoarthritis	ORS 2023 Annual Meeting. Dallas: Feb 2023			B
1. 論文	(6) 論文/国際学 会発表プロシー ディング(抄録 集)	査読有 Honma R, Takakubo Y, Saito D, Wanezaki Y, Aso M, Monma R, Yang S, Sasaki A, Takagi M	Radiographic destruction of carpal bone in patients with early rheumatoid arthritis	EULAR. Denmark: Jun 2022			B
1. 論文	(6) 論文/国際学 会発表プロシー ディング(抄録 集)	査読有 Takagi M	Pathologic overview of periprosthetic joint infections. To be or not to be?.	2022 International Congress of the Korean Hip Society. Korea: Sep 2022			
1. 論文	(6) 論文/国際学 会発表プロシー ディング(抄録 集)	査読有 Takakubo Y	Total hip arthroplasties for patients with rheumatoid arthritis in BIO and JAKi-era.	2022 International Congress of the Korean Hip Society. Korea: Sep 2022			
1. 論文	(6) 論文/国際学 会発表プロシー ディング(抄録 集)	査読有 Takakubo Y, Takagi M	Hip surgery and functional recovery in the patients with rheumatoid arthritis.	The 66th Annual Scientific Meeting of the Japan College of Rheumatology, Yokohama; Apr 2022			B
1. 論文	(6) 論文/国際学 会発表プロシー ディング(抄録 集)	査読有 Tamura N, Atsumi T, Okamoto N, Takahashi N, Nakajima A, Nakajima A, Fujii T, Matsuno H, Tsujimoto N, Nishikawa A, Ishii T, Takeuchi T, Kuwana M, Takagi M	Safety and effectiveness of baricitinib in patients with rheumatoid arthritis:24-week data of all-case postmarketing surveillance in clinical use in Japan	The 66th Annual Scientific Meeting of the Japan College of Rheumatology, Yokohama; Apr 2022			B
1. 論文	(6) 論文/国際学 会発表プロシー ディング(抄録 集)	査読有 Nakajima A, Atsumi T, Okamoto N, Takahashi N, Tamura N, Nakajima A, Fujii T, Matsuno H, Hayashi E, Ishida A, Yoshida M, Kuwana M, Takagi M, Takeuchi M	Interim Tabulation Results of Post- marketing Surveillance (PMS) Study of Mepolizumab in Patients with Eosinophilic Granulomatosis with Polyangiitis (EGPA)	The 66th Annual Scientific Meeting of the Japan College of Rheumatology, Yokohama; Apr 2022			B
1. 論文	(6) 論文/国際学 会発表プロシー ディング(抄録 集)	査読有 Tamura N, Atsumi T, Fujii T, Matsuno H, Nakajima A, Okamoto N, Takahashi N, Kuwana M, Takagi M, Takeuchi M, Yoshida M, Onaka Y, Matsuki T	Postmarketing surveillance of safety of belimumab (BEL) in Japanese adult patients (pts) with systemic lupus erythematosus (SLE): interim report	The 66th Annual Scientific Meeting of the Japan College of Rheumatology, Yokohama; Apr 2022			B
1. 論文	(6) 論文/国際学 会発表プロシー ディング(抄録 集)	査読有 Saito D, Takakubo Y, Toshioka D, Monma R, Wanezaki Y, Aso M, Naganuma Y, Oki H, Honma R, Yang S, Sasaki A, Takagi M	Improvement of radiographic joint destruction in patients with early rheumatoid arthritis in the last decade.	EULAR. Denmark: Jun 2022			B
1. 論文	(7) その他	高窪祐弥	リウマチとともに生きる—令和時代のリウマチ 治療.	山形新聞, 2022年11月10日号			

業績分類	査読	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者 等	論題・章題・演題・学会賞名 等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月 等	Impact Factor ・ JIF QUARTILE (2021)	刊行状況	研究情報備考
2. 学会報告	(1) 国際学会	i 特別講演・招待講演・会長講演 Takagi M	Pathologic overview of periprosthetic joint infections. To be or not to be?.	2022 International Congress of the Korean Hip Society. Korea; Sep 2022			
2. 学会報告	(1) 国際学会	ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等 Takakubo Y	Total hip arthroplasties for patients with rheumatoid arthritis in BIO and JAKi-era.	2022 International Congress of the Korean Hip Society. Korea; Sep 2022			
2. 学会報告	(1) 国際学会	iii 一般演題 査読有 Akabane T, Suzuki T, Konno Y, Sagae H, Takagi M	Analysis of risk factors for correction loss after percutaneous posterior spinal fixation for traumatic thoracolumbar vertebral fractures.-Usefulness of preoperative vertebral hounsfield unit measurement on CT images-	ORS 2023 Annual Meeting. Dallas; Feb 2023			B
2. 学会報告	(1) 国際学会	iii 一般演題 査読有 Hanqing H, Takakubo Y, Maruyama M, Uno T, Akabane T, Igarashi T, Takeda Y, Goodman SB, Takagi M	Analysis on autophagy-related molecules in macrophage subtype in the synovium of rheumatoid arthritis and osteoarthritis	ORS 2023 Annual Meeting. Dallas; Feb 2023			B
2. 学会報告	(1) 国際学会	iii 一般演題 査読有 Honma R, Takakubo Y, Saito D, Wanezaki Y, Aso M, Monma R, Yang S, Sasaki A, Takagi M	Radiographic destruction of carpal bone in patients with early rheumatoid arthritis	EULAR. Denmark; Jun 2022			B
2. 学会報告	(1) 国際学会	iii 一般演題 査読有 Saito D, Takakubo Y, Toshioka D, Monma R, Wanezaki Y, Aso M, Naganuma Y, Oki H, Honma R, Yang S, Sasaki A, Takagi M	Improvement of radiographic joint destruction in patients with early rheumatoid arthritis in the last decade.	EULAR. Denmark; Jun 2022			B
2. 学会報告	(2) 国内学会	i 特別講演・招待講演・会長講演 高木理彰	股関節疾患の診断と治療.	第10回日本運動器理学療法学会学術大会, Web; 2022年9月			
2. 学会報告	(2) 国内学会	i 特別講演・招待講演・会長講演 高木理彰	関節リウマチ基礎研究の最前線.	第37回日本整形外科学会基礎学術集会, 宮崎; 2022年10月			
2. 学会報告	(2) 国内学会	i 特別講演・招待講演・会長講演 高木理彰	セメントTHA(ステム/カップ)ー基本手技と留意点ー.	第53回日本人工関節学会, 横浜(ライブ 一部オンデマンド); 2023年2月			
2. 学会報告	(2) 国内学会	i 特別講演・招待講演・会長講演 丸山真博, 佐竹寛史, 宇野智洋, 原田幹生, 高原政利, 高木理彰	成長期野球選手における肘周辺の尺骨神経障害に対する治療.	第35回日本肘関節学会学術集会, 山形(ハイブリッド); 2023年2月			B
2. 学会報告	(2) 国内学会	ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等 千葉寛之	次世代型ASSR検査機器による聴力評価のTips & Tricks	第67回日本聴覚医学会, 山形; 2022年11月			
2. 学会報告	(2) 国内学会	ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等 石井政次, 佐々木幹, 大木弘治, 伊藤重治, 高窪祐弥, 高木理彰, 川路博之, 門馬亮介, 浦山安広, 大楽勝之	骨切り後難治例のTHA検討.	第71回東日本整形災害外科学会, 東京(ハイブリッド); 2022年9月			B
2. 学会報告	(2) 国内学会	ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等 石井政次, 佐々木幹, 大木弘治, 川路博之, 浦山安広, 大楽勝之, 門馬亮介, 伊藤重治, 高窪祐弥, 高木理彰	人工股関節再置換術～巨大骨欠損への挑戦～.	第49回日本股関節学会学術集会, 山形(ハイブリッド); 2022年10月			B

業績分類	査読	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者 等	論題・章題・演題・学会賞名 等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月 等	Impact Factor ・ JIF QUARTILE (2021)	刊行状況	研究情報備考
2. 学会報告	(2) 国内学会	ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	伊藤重治, 根本信仁, 大楽勝之, 川路博之, 鮫島健志, 門馬亮介, 高窪祐弥, 大木弘治, 佐々木幹, 高木理彰	山形県における高齢者脆弱性骨盤輪骨折に対する治療の現状と問題点.	第49回日本股関節学会学術集会, 山形(ハイブリッド); 2022年10月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	佐々木幹, 石井政次, 大木弘治, 川路博之, 高窪祐弥, 伊藤重治, 門馬亮介, 伊東貴史, 高木理彰	* セメントステムを用いた大腿骨欠損に対する再置換術の工夫.	第95回日本整形外科学会学術総会, 神戸; 2022年5月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	佐々木淳也, 原田幹生, 高原政利, 佐竹寛史, 丸山真博, 宇野智洋, 高木理彰	* 超音波による肘関節内側不安定性の定量的評価 - 弛みの出現する過程の検討 -.	第35回日本肘関節学会学術集会, 山形(ハイブリッド); 2023年2月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	佐竹寛史, 丸山真博, 仁藤敏哉, 本間龍介, 長沼靖, 澁谷純一郎, 石垣大介, 金内ゆみ子, 高原政利, 高木理彰	* 先天性橈尺骨癒合症に対する橈骨単純回施骨切り術.	第35回日本肘関節学会学術集会, 山形(ハイブリッド); 2023年2月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	高窪祐弥, 寒河江拓盛, 成田垂矢, 高木理彰	* 高齢リウマチ患者のマネージメントーリハビリテーションとケアの実態.	第95回日本整形外科学会学術総会, 神戸; 2022年5月		
2. 学会報告	(2) 国内学会	ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	高窪祐弥	BIO/JAK時代の関節リウマチ治療.	第95回日本整形外科学会学術総会, 神戸; 2022年5月		
2. 学会報告	(2) 国内学会	ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	高窪祐弥, 伊藤重治, 鮫島健志, 大木弘治, 高橋健大, 門馬亮介, 伊東貴史, 川路博之, 浦山安広, 佐々木幹, 石井政次, 高木理彰	* 人工股関節周囲感染の診断と治療.	第71回東日本整形災害外科学会, 東京(ハイブリッド); 2022年9月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	高窪祐弥, 高橋健大, 伊藤重治, 門馬亮介, 大木弘治, 大楽勝之, 浦山安広, 佐々木幹, 小林真司, 高木理彰	* 超高齢社会における非定型大腿骨骨折の特徴 - YamaCAFe extended-study から -.	第49回日本股関節学会学術集会, 山形(ハイブリッド); 2022年10月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	原田幹生, 高原政利, 佐々木淳也, 丸山真博, 宇野智洋, 佐竹寛史, 高木理彰	* 自重カ外反ストレス X線撮影による肘関節内側不安定性の定量的評価.	第35回日本肘関節学会学術集会, 山形(ハイブリッド); 2023年2月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	丸山真博, 宇野智洋, 高原政利, 佐竹寛史, 原田幹生, 高木理彰	* OCDの病態と保存治療の取り組み.	第14回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会/第48回日本整形外科スポーツ医学会学術集会 (JOSKAS-JOSSM 2022), 札幌; 2022年6月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	丸山真博, 原田幹生, 宇野智洋, 佐竹寛史, 村成幸, 高原政利, 高木理彰	* 山形県の野球肘検診の取り組み: 理想を求めて.	第33回日本整形外科超音波学会, 広島; 2022年7月		B

業績分類	査読	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者 等	論題・章題・演題・学会賞名 等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月 等	Impact Factor ・ JIF QUARTILE (2021)	刊行状況	研究情報備考
2. 学会報告	(2) 国内学会	ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	丸山真博, 高木理彰	大腿骨頭壊死に対する免疫制御を用いた細胞治療の基礎的研究.	第49回日本股関節学会学術集会, 山形(ハイブリッド); 2022年10月		
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読無 千葉寛之	聴力正常成人による次世代型ASSR検査機器の比較検討	第67回日本聴覚医学会, 山形; 2022年10月		
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読無 阿部希望	次世代型ASSR検査機器SENTIEROの聴力評価の検討	第67回日本聴覚医学会, 山形; 2022年10月		
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読無 荒川忍、高窪祐弥、村川美幸、石川雅樹、佐々木健、大森允、内田徹郎、高木理彰	包括的心臓リハビリテーションにより、退院後早期に社旗復帰が可能であった僧房弁形成術後の1例	第26回 山形心臓外科懇話会, 山形; 2022年7月		
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読無 森大輔、石川雅樹、佐藤美香、大森允、高窪祐弥、高木理彰	膠芽腫摘出後より生じたPusher症候群に対する理学療法経験 ～非麻痺側への重心移動練習により早期に改善が得られた症例～	第30回山形県理学療法学会学術大会, ポスター発表, 山形; 2022. 6月		
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読無 浦山樹、丸山真博、原田幹生、宇野智洋、村成幸、佐竹寛史、鈴木朱美、高窪祐弥、岩井章洋、高木理彰	高校野球選手における肩内旋制限に対する自己評価法を用いた肩肘痛評価	JOSSM-JOSKAS 2022, 札幌; 2022. 6月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読無 浦山樹、高窪祐弥、石川雅樹、佐藤美香、大森允、高木理彰	両前足部障害に対する両前足部切除形成術を施行した症例 ー疼痛改善とQOL向上への取り組みー	第30回山形県理学療法学会学術大会, 山形; 2022. 6月		
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読無 浦山樹、高窪祐弥、鈴木朱美、石川雅樹、佐藤美香、大森允、今田和希、高木理彰	変形性足関節症術前患者の下肢身体機能がQuality of Life に及ぼす影響	第10回日本運動器理学療法学会学術集会, オンライン; 2022. 9月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読無 浦山樹、高窪祐弥、鈴木朱美、和根崎禎大、高木理彰	関節リウマチによる前足部障害患者のつま先立ちがQuality of life へ及ぼす影響 ー自己記入式足部足関節評価質問紙票での検討ー	第47回日本足の外科学会学術集会, 愛媛; 2022. 11月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 川口昂希、石川雅樹、佐藤美香、大森允、高窪祐弥、高木理彰	ヒト免疫不全ウイルス関連脳白質病変による進行性錐体路障害に対し誤嚥性肺炎の予防に向け介入した1例	第30回山形県理学療法学会学術大会, 山形; 2022. 6月		
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 大森允、有本貴範、沓澤大輔、高窪祐弥、石川雅樹、荒川忍、渡辺昌文、高木理彰	心臓血管外科術後患者における外来心臓リハビリテーション開始時の換気効率の検討	第30回山形県理学療法学会学術大会, 山形; 2022. 6月		
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 佐藤美香、高窪祐弥、石川雅樹、村田宙、村川美幸、辺見大剛、高木理彰	両下肢リンパ浮腫を併存した変形性股関節症患者に対する人工股関節全置換術後の理学療法経験	第49回日本股関節学会学術集会, 山形; 2022. 10月		
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読無 村田宙、佐々木幹、佐藤美香、石川雅樹、高窪祐弥、高木理彰	THA後患者のJHEQと体幹側屈応答の関連性の検討	第49回日本股関節学会学術集会, 山形; 2022. 10月		
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 村川美幸、佐々木健、柴橋広智、高窪祐弥、高木理彰	関節リウマチ患者に対するハンドエクササイズの実験～入院中のSARAHエクササイズ導入～	第32回東北作業療法学会, 青森; 2022. 7月		
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 Uno T, Takahara M, Maruyama M, Harada M, Satake H, Takagi M	* Quantitative and qualitative assessments of radiographic healing of osteochondritis dissecans of the humeral capitellum.	The35th Annual Meeting of the Japan Elbow Society, Yamagata(Webinar and In-person); February 2023		B

業績分類	査読	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者 等	論題・章題・演題・学会賞名 等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月 等	Impact Factor ・ JIF QUARTILE (2021)	刊行状況	研究情報備考
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 赤羽武, 鈴木智人, 寒河江拓盛, 今野祐生, 高木理彰	* 外傷性胸腰椎椎体骨折に対する経皮的脊椎後方固定術後の局所後彎進行因子に関するCT値の測定方法の検討.	第71回東日本整形災害外科学会, 東京(ハイブリッド); 2022年9月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 赤羽武, Koen van Wijk, 斎藤真一, 木村朋寛, 岡野聡, 児玉健, 田中徹, 寒河江拓盛, 鈴木智人, 高木理彰, 中島修	* ヘム欠乏はAMPK シグナル低下を背景にオートファジー不全を伴う加齢依存的骨格筋障害を惹起する.	第37回日本整形外科学会基礎学術集会, 宮崎; 2022年10月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 麻生正, 鈴木朱美, 高窪祐弥, 中島拓, 豊野修二, 五十嵐貴宏, 和根崎禎大, 高木理彰	* RA患者に対するTKA術後の造影CTによる静脈血栓塞栓症の検出率の調査.	第14回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会/第48回日本整形外科スポーツ医学会学術集会(JOSKAS-JOSSM 2022), 札幌; 2022年6月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 阿部純汰, 松島得好, 佐藤亘, 白幡淳, 鈴木優太, 寒河江拓盛, 成田亜矢, 茂木紹良	脊椎腫瘍術後7か月経過後～入院リハビリテーションを開始し修正歩行獲得した1例.	第59回日本リハビリテーション医学会学術集会, 横浜; 2022年6月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 石垣大介, 根本信太郎, 澁谷純一郎, 花香直美, 加藤義洋, 本間龍介, 仁藤敏哉, 丸山真博, 佐竹寛史, 高木理彰	10歳代の舟状骨骨折に対する骨接合術の成績.	第65回日本手外科学会学術集会, 福岡(ハイブリッド); 2022年4月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 石川雅樹, 村川美幸, 成田亜矢, 高窪祐弥, 高木理彰	リハビリテーション医療中に意識障害を生じた急変患者の動向.	第59回日本リハビリテーション医学会学術集会, 横浜; 2022年6月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 伊藤重治, 高窪祐弥, 門馬亮介, 大木弘治, 佐々木幹, 石井政次, 高木理彰	* 人工股関節全置換術当日の離床は静脈血栓塞栓症の発生を減少させない.	第95回日本整形外科学会学術総会, 神戸; 2022年5月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 伊藤重治, 高窪祐弥, 鮫島健志, 門馬亮介, 大木弘治, 佐々木幹, 小林真司, 石井政次, 高木理彰	* 大腿骨頭壊死症に対するセメントステムを用いた人工股関節全置換術の中期成績.	第53回日本人工関節学会, 横浜(ライブ 一部オンデマンド); 2023年2月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 伊東貴史, 福島重宣, 山本尚生, 鈴木朱美, 中島拓, 豊野修二, 和根崎禎大, 高木理彰	* 変形性膝関節症におけるTibial bone varus angleの検討.	第14回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会/第48回日本整形外科スポーツ医学会学術集会(JOSKAS-JOSSM 2022), 札幌; 2022年6月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 伊東貴史, 福島重宣, 村中雄治, 山本尚生, 中島拓, 鮫島健志, 麻生正, 和根崎禎大, 豊野修二, 鈴木朱美, 高木理彰	* Kinematic alignment TKAにおける術後屈曲位弛緩性の検討.	第53回日本人工関節学会, 横浜(ライブ 一部オンデマンド); 2023年2月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 上杉裕子, 坂井孝司, 安藤涉, 関泰輔, 林中也, 中村順一, 稲葉裕, 高橋大介, 高木理彰, 中島康晴, 間島直彦, 加畑多文, 須藤啓広, 神野哲也, 名越智, 山本謙吾, 仲宗根哲, 山本卓明, 菅野伸彦	特発性大腿骨頭壊死症 (ONFH) 患者のQOL 調査の取り組み.	第49回日本股関節学会学術集会, 山形(ハイブリッド); 2022年10月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 宇野智洋, 本間龍介, 佐竹寛史, 高原政利, 大石隆太, 丸山真博, 高木理彰	* 観血的手術によりハンドボール復帰が可能であった上腕骨偽関節の一例.	第14回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会/第48回日本整形外科スポーツ医学会学術集会(JOSKAS-JOSSM 2022), 札幌; 2022年6月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 宇野智洋, 村成幸, 結城一声, 大石隆太, 鈴木朱美, 高木理彰	* ノットレスDAFF法での鏡視下Bankart修復術における関節窩骨欠損.	第49回日本肩関節学会, 横浜; 2022年10月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 宇野智洋, 丸山真博, 黄漢卿, 劉興, 豊野修二, 結城一声, 鈴木朱美, 佐竹寛史, 高窪祐弥, 村成幸, 高木理彰	* 家兔陳旧性腱板断裂モデルに対する骨髓血由来の多血小板フィブリンの修復効果.	第37回日本整形外科学会基礎学術集会, 宮崎; 2022年10月		A
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 浦山樹, 丸山真博, 原田幹生, 宇野智洋, 村成幸, 佐竹寛史, 鈴木朱美, 高窪祐弥, 岩井章洋, 高木理彰	* 高校野球選手における肩内旋制限に対する自己評価法を用いた肩肘痛評価.	第14回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会/第48回日本整形外科スポーツ医学会学術集会(JOSKAS-JOSSM 2022), 札幌; 2022年6月		B

業績分類			査読	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者 等	論題・章題・演題・学会賞名 等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月 等	Impact Factor ・ JIF QUARTILE (2021)	刊行状況	研究情報備考
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有	浦山樹, 高窪祐弥, 鈴木朱美, 和根崎禎大, 高木理彰	* 関節リウマチによる前足部障害患者のつま先立ちが Quality of life へ及ぼす影響 - 自己記入式足部足関節評価質問紙票での検討-	第47回日本足の外科学会・学術集会, 愛媛; 2022年11月			A
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有	大石隆太, 星川恭賛, 村成幸, 宇野智洋, 高木理彰	* 腱板断裂患者の棘下筋機能と肩峰骨頭間距離の関係.	第49回日本肩関節学会, 横浜; 2022年10月			B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有	大石隆太, 星川恭賛, 村成幸, 宇野智洋, 高木理彰	* 腱板断裂患者のcritical shoulder angle と肩峰骨頭間距離の関係.	第49回日本肩関節学会, 横浜; 2022年10月			B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有	大木弘治, 伊東貴史, 鮫島健志, 伊藤重治, 高窪祐弥, 佐々木幹, 石井政次, 高木理彰	* 大腿骨転子部骨折に対する人工股関節手術と骨接合術後のサルベージ人工股関節手術の検討.	第49回日本股関節学会学術集会, 山形(ハイブリッド); 2022年10月			B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有	大木弘治, 鮫島健志, 伊東貴史, 門馬亮介, 伊藤重治, 高窪祐弥, 浦山安広, 佐々木幹, 川路博之, 石井政次, 高木理彰	* 寛骨臼回転骨切り術後のセメント人工股関節全置換術の検討.	第53回日本人工関節学会, 横浜(ライブ 一部オンデマンド); 2023年2月			B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有	岡本純一, 鈴木朱美, 成田淳, 豊野修二, 高木理彰	* 屈曲拘縮を伴った恒久性膝蓋骨脱臼に対して人工膝関節全置換術と内側膝蓋大腿靭帯再建術を行った1例	第53回日本人工関節学会, 横浜(ライブ 一部オンデマンド); 2023年2月			B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有	奥田正太, 石垣大介, 高窪祐弥, 佐竹寛史, 鈴木朱美, 和根崎禎大, 高木理彰	* Freiberg病に対する中足骨短骨切り術の経験.	第71回東日本整形災害外科学会, 東京(ハイブリッド); 2022年9月			B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有	片山れな, 石垣大介, 加藤義洋, 本間龍介, 花香直美, 澁谷純一郎, 根本信太郎, 佐竹寛史, 高木理彰	* 80歳以上の高齢者の変形性肘関節症に伴う肘部管症候群に対する手術成績.	第35回日本肘関節学会学術集会, 山形(ハイブリッド); 2023年2月			B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有	金内ゆみ子, 近藤礼, 寒河江拓盛, 成田亜矢, 高窪祐弥, 高木理彰	* 小脳出血によるLocked-in syndromeの1例.	第59回日本リハビリテーション医学会学術集会, 横浜; 2022年6月			B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有	川路博之, 石井政次, 佐々木幹, 大楽勝之, 浦山安広, 高窪祐弥, 伊藤重治, 大木弘治, 門馬亮介, 高木理彰	* 乳児期股関節脱臼治療後の遺残障害に対して寛骨臼回転骨切り術とBorden 大腿骨延長外反骨切り術を同時に施行した1例.	第49回日本股関節学会学術集会, 山形(ハイブリッド); 2022年10月			B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有	黄漢卿, 丸山真博, 高窪祐弥, 劉興, 宇野智洋, 赤羽武, 五十嵐貴宏, 豊野修二, 和根崎禎大, 中島拓, 高木理彰	* 関節リウマチの滑膜におけるマクロファージのサブタイプ別のオートファジー関連タンパク質の解析.	第37回日本整形外科学会基礎学術集会, 宮崎; 2022年10月			B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有	斎藤大三, 門馬亮介, 鮫島健志, 伊藤重治, 高窪祐弥, 高木理彰	* 特定機能病院において骨接合術を施行した高齢の大腿骨転子部骨折症例の特徴と周術期合併症についての検討.	第49回日本股関節学会学術集会, 山形(ハイブリッド); 2022年10月			B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有	寒河江拓盛, 鈴木智人, 成田亜矢, 鈴木優太, 高野満夫, 金内ゆみ子, 高窪祐弥, 高木理彰	* 重度頸髄損傷急性期における早期栄養療法に関する検討.	第59回日本リハビリテーション医学会学術集会, 横浜; 2022年6月			B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有	寒河江拓盛, 茂木紹良, 松島得好, 鮫島健志, 伊藤重治, 高窪祐弥, 高木理彰	* 大腿骨近位部骨折術後回復期における嚥下機能障害の実態.	第49回日本股関節学会学術集会, 山形(ハイブリッド); 2022年10月			B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有	寒河江拓盛, 鈴木智人, 赤羽武, 嶋村之秀, 高木理彰	* 重度思春期特発性側弯症における術前後体組成の検討.	第37回日本整形外科学会基礎学術集会, 宮崎; 2022年10月			B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有	寒河江拓盛, 鈴木智人, 高木理彰	* 思春期特発性側弯症における術前後体組成の評価-生体インピーダンス法による検討-	第56回日本側弯症学会学術集会, 横浜; 2022年11月			B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有	佐々木明子, 梁秀蘭, 高窪祐弥, 高木理彰	* デノスマブが有効した胸肋鎖骨肥厚症の1例.	第66回日本リウマチ学会総会・学術集会, 東京(ハイブリッド); 2022年4月			B

業績分類	査読	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者 等	論文・章題・演題・学会賞名 等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月 等	Impact Factor ・ JIF QUARTILE (2021)	刊行状況	研究情報備考
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 佐々木幹, 大木弘治, 伊東貴史, 高橋健大, 門馬亮介, 高窪祐弥, 伊藤重治, 鮫島健志, 石井政次, 高木理彰	* 当科におけるCT-based Navigation THA の成績.	第49回日本股関節学会学術集会, 山形(ハイブリッド); 2022年10月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 佐々木幹, 大木弘治, 伊東貴史, 高橋健大, 高窪祐弥, 伊藤重治, 鮫島健志, 石井政次, 高木理彰	* 人工股関節後方脱臼症例における骨盤アライメントの検討.	第53回日本人工関節学会, 横浜(ライブ 一部オンデマンド); 2023年2月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 佐竹寛史, 仁藤敏哉, 丸山真博, 長沼靖, 澁谷純一郎, 宇野智洋, 高木理彰	* 超音波診断を行った胸郭出口症候群に対する内視鏡補助下第1肋骨切除術の成績.	第65回日本手外科学会学術集会, 福岡(ハイブリッド); 2022年4月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 佐竹寛史, 長沼靖, 本間龍介, 仁藤敏哉, 澁谷純一郎, 丸山真博, 鈴木朱美, 高窪祐弥, 高木理彰, 石垣大介, 倉秀治	* カーリー趾の重症度評価.	第95回日本整形外科学会学術総会, 神戸; 2022年5月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 佐竹寛史, 長沼靖, 原田幹生, 丸山真博, 宇野智洋, 鈴木朱美, 高木理彰	* テニス肘の診断—患者、ボランティア、アスリートとの比較—.	第14回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会/第48回日本整形外科スポーツ医学会学術集会(JOSKAS-JOSSM 2022), 札幌; 2022年6月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 佐竹寛史, 本間龍介, 丸山真博, 長沼靖, 澁谷純一郎, 仁藤敏哉, 鈴木朱美, 高窪祐弥, 石垣大介, 高木理彰	* 手足に対するZ型延長術.	第71回東日本整形災害外科学会, 東京(ハイブリッド); 2022年9月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 佐竹寛史, 本間龍介, 丸山真博, 仁藤敏哉, 高木理彰	* 上腕骨外側上顆炎における橈骨神経障害の関与.	第37回日本整形外科学会基礎学術集会, 宮崎; 2022年10月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 佐藤果菜美, 佐々木尚子, 田口充, 松島得好, 寒河江拓盛, 鈴木優太, 成田亜矢, 茂木紹良	重度嚥下障害に対して完全側臥位法が長期間有効であった1例.	第59回日本リハビリテーション医学会学術集会, 横浜; 2022年6月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 佐藤さくら, 鈴木智人, 嶋村之秀, 赤羽武, 伊藤重治, 鮫島健志, 高窪祐弥, 高木理彰	* 術後に不安定型骨盤輪損傷が判明した多発外傷の1例.	第71回東日本整形災害外科学会, 東京(ハイブリッド); 2022年9月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 鮫島健志, 伊藤重治, 門馬亮介, 高窪祐弥, 高橋健大, 大木弘治, 佐々木幹, 石井政次, 高木理彰	* 当院における85歳以上に対する人工股関節全置換術手術件数の推移と術後成績.	第71回東日本整形災害外科学会, 東京(ハイブリッド); 2022年9月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 鮫島健志, 伊藤重治, 高窪祐弥, 門馬亮介, 高橋健大, 大木弘治, 佐々木幹, 石井政次, 高木理彰	* 肝硬変合併例に対するセメント人工股関節全置換術の検討.	第49回日本股関節学会学術集会, 山形(ハイブリッド); 2022年10月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 鮫島健志, 伊藤重治, 高窪祐弥, 門馬亮介, 高橋健大, 大木弘治, 佐々木幹, 石井政次, 高木理彰	* 当院における高位脱臼症例に対する転子下骨切り併用人工股関節全置換術の術後成績.	第53回日本人工関節学会, 横浜(ライブ 一部オンデマンド); 2023年2月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 澁谷純一郎, 高原政利, 佐竹寛史, 高木理彰	* 肘部管症候群の手術治療成績: 単純除圧術と尺骨神経皮下前方移動術の比較.	第65回日本手外科学会学術集会, 福岡(ハイブリッド); 2022年4月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 澁谷純一郎, 高原政利, 中西凜太郎, 佐竹寛史, 高木理彰	* 野球少年に生じた上腕骨内側上顆骨端離開に対する手術成績.	第35回日本肘関節学会学術集会, 山形(ハイブリッド); 2023年2月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 澁谷純一郎, 高原政利, 中西凜太郎, 佐竹寛史, 高木理彰	* 野球少年に発症した肘部管症候群に対する尺骨神経皮下前方移動術の治療成績.	第35回日本肘関節学会学術集会, 山形(ハイブリッド); 2023年2月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 渋谷眞大, 原田幹生, 宇野智洋, 丸山真博, 佐竹寛史, 高原政利, 高木理彰	* 検診で検出された肘離断性骨軟骨炎に対し、ギプス固定による保存治療を行った男子ジュニアテニス選手の1例.	第35回日本肘関節学会学術集会, 山形(ハイブリッド); 2023年2月		B

業績分類	査読	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者 等	論題・章題・演題・学会賞名 等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月 等	Impact Factor ・ JIF QUARTILE (2021)	刊行状況	研究情報備考
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 白井千緒海, 菅原正登, 高原大一郎, 高木理彰	* 前腕に発生した軟部肉腫の再発危険因子についての検討.	第55回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会, 東京; 2022年7月		
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 菅原正登, 田中賢, 高原大一郎, 白井千緒海, 浅野多聞, 高木理彰	* 腫瘍用人工関節の感染に対して遊離広背筋弁で二期的に再建した2例.	第55回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会, 東京; 2022年7月		
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 菅原正登, 伊藤重治, 田中賢, 高窪祐弥, 浅野多聞, 高木理彰	* CLAPを用いて治療した腫瘍用人工関節術後感染の2例.	第71回東日本整形災害外科学会, 東京(ハイブリッド); 2022年9月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 菅原正登, 伊藤重治, 濱崎正康, 鮫島健志, 高窪祐弥, 高木理彰	* CLAP を用いて治療した腫瘍用人工骨頭術後感染の1例.	第49回日本股関節学会学術集会, 山形(ハイブリッド); 2022年10月		
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 白石暁, 伊藤重治, 鮫島健志, 川路博之, 門馬亮介, 高窪祐弥, 高木理彰	* 坐骨結節裂離骨折に対してスクリューとsuture anchor を併用して内固定した1例.	第49回日本股関節学会学術集会, 山形(ハイブリッド); 2022年10月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 鈴木朱美, 中島拓, 麻生正, 豊野修二, 和根崎禎大, 高木理彰	* 膝前十字靭帯再建術における末梢神経ブロックによる術後鎮痛の検討.	第14回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会/第48回日本整形外科学会スポーツ医学会学術集会(JOSKAS-JOSSM 2022), 札幌; 2022年6月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 鈴木朱美, 高木理彰	* 足関節固定術後感染に対し局所持続抗菌薬還流療法 (GLAP) で治療した1例.	第45回日本骨・関節感染症学会, 金沢; 2022年7月		
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 鈴木朱美, 和根崎禎大, 高窪祐弥, 佐竹寛史, 高木理彰	* 外側進入人工足関節全置換術後に脛骨骨幹部骨折を生じた1例.	第47回日本足の外科学会・学術集会, 愛媛; 2022年11月		
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 鈴木智人, 赤羽武, 寒河江拓盛, 高木理彰	* 脊椎変性疾患における周術期合併症発生率に対する四季の関与の検討.	第71回東日本整形災害外科学会, 東京(ハイブリッド); 2022年9月		
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 鈴木智人, 寒河江拓盛, 高木理彰	* 思春期特発性側弯症に対するCT値を用いた椎体骨密度評価-側弯頂椎における凹側と凸側との差-	第56回日本側弯症学会学術集会, 横浜; 2022年11月		
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 鈴木真央, 村成幸, 小関匡史, 大石隆太, 永井惇, 新宮恵, 宇野智洋, 結城一声, 高木理彰	* 拘縮を伴う腱板断裂には鏡視下腱板修復術のみで良いか?.	第49回日本肩関節学会, 横浜; 2022年10月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 鈴木優太, 寒河江拓盛, 成田亜矢, 大類広, 高木理彰	* 体位変換困難な児への側臥位保持装置の使用経験.	第59回日本リハビリテーション医学会学術集会, 横浜; 2022年6月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 大柴勝之, 伊藤重治, 高木理彰	* 当院におけるステム周囲骨折の治療成績.	第49回日本股関節学会学術集会, 山形(ハイブリッド); 2022年10月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 高窪祐弥, 高木理彰	関節リウマチに対する股関節手術と機能回復.	第66回日本リウマチ学会総会・学術集会, 東京(ハイブリッド); 2022年4月		
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 高窪祐弥, 寒河江拓盛, 杉本奈央, 成田亜矢, 高野満夫, 金内ゆみ子, 小林真司, 佐々木幹, 高木理彰	* 地方急性期病院におけるリハビリテーションリポート医学セミナーの経験.	第59回日本リハビリテーション医学会学術集会, 横浜; 2022年6月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 高窪祐弥, 和根崎禎大, 麻生正, 梁秀蘭, 佐々木明子, 本間龍介, 門馬亮介, 大類広, 高木理彰	* 北海道・東北地区のリウマチ診療の現状と問題点-やらんなネット9年の経験からみえてきたこと-	第32回日本リウマチ学会北海道・東北支部学術集会, 札幌; 2022年9月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 高窪祐弥, 高橋健大, 太田大地, 宮地隆浩, 伊藤重治, 門馬亮介, 大木弘治, 佐々木幹, 高木理彰	* 非定型大腿骨骨折の転子下型と骨幹部型の形態学的検討.	第37回日本整形外科学会基礎学術集会, 宮崎; 2022年10月		B

業績分類	査読	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者 等	論題・章題・演題・学会賞名 等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月 等	Impact Factor ・ JIF QUARTILE (2021)	刊行状況	研究情報備考
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 高窪祐弥, 和根崎禎大, 麻生正, 高木理彰	* 専門にとらわれないリウマチ手術治療.	第50回日本関節病学会, 新潟; 2022年10月		
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 高窪祐弥, 和根崎禎大, 澁谷純一郎, 奥田正太, 浦山樹, 長沼靖, 鈴木朱美, 佐竹寛史, 石垣大介, 高木理彰	* RA 前足部変形に対する MTP 関節温存と切除関節形成術の比較.	第47回日本足の外科学会・学術集会, 愛媛; 2022年11月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 高窪祐弥, 伊藤重治, 鮫島健志, 大木弘治, 門馬亮介, 浦山安広, 佐々木幹, 川路博之, 石井政次, 小林真司, 高木理彰	* 人工股関節全置換術件数に見るCOVID-19感染症の影響.	第53回日本人工関節学会, 横浜(ライブ 一部オンデマンド); 2023年2月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 高田志考, 杉田誠, 武井寛, 鈴木智人, 高木理彰	* 成人脊柱変形 (ASD) 患者の体位によるpelvic incidence (PI) の変動と術後アライメントへの影響.	第95回日本整形外科学会学術総会, 神戸; 2022年5月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 高橋健大, 佐々木幹, 大木弘治, 伊東貴史, 高窪祐弥, 伊藤重治, 門馬亮介, 鮫島健志, 石井政次, 高木理彰	* 当院における初回人工股関節全置換術後脱臼例についての検討.	第49回日本股関節学会学術集会, 山形(ハイブリッド); 2022年10月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 高橋将輝, 高窪祐弥, 梁秀蘭, 長沼靖, 本間龍介, 高木理彰	* 化膿性腱鞘炎との鑑別を要した乾癬性関節炎による指炎の病理学的検討.	第51回日本リウマチの外科学会, 福岡; 2022年9月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 高橋将輝, 浅野多聞, 長谷川浩士, 田中賢, 根本信仁, 嶋村之秀, 土屋匡央, 菅原正登, 高原大一郎, 高木理彰	* 整形外科医が初診を担当した転移性骨腫瘍の検討.	第71回東日本整形災害外科学会, 東京(ハイブリッド); 2022年9月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 高原大一郎, 菅原正登, 高木理彰	* 粘液型脂肪肉腫における治療前の予後因子の検討.	第55回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会, 東京; 2022年7月		
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 高原政利, 丸山真博, 佐竹寛史, 澁谷純一郎, 高木理彰	* 肘離断性骨軟骨炎の発症と進展様式.	第65回日本手外科学会学術集会, 福岡(ハイブリッド); 2022年4月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 田村直人, 渥美達也, 岡本奈美, 高橋伸典, 中島敦夫, 中島亜矢子, 藤井隆夫, 松野博明, 辻本直人, 西川厚嗣, 石井泰子, 竹内勤, 桑名正隆, 高木理彰	関節リウマチ患者に対するバリシチニブ安全性・有効性: 国内特定使用成績調査(製造販売後全例調査)の24週データ.	第66回日本リウマチ学会総会・学術集会, 東京(ハイブリッド); 2022年4月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 田村直人, 渥美達也, 藤井隆夫, 松野博明, 中島敦夫, 中島亜矢子, 岡本奈美, 高橋伸典, 桑名正隆, 高木理彰, 竹内勤, 吉田光宏, 尾中夕菜, 松木大造	日本人成人全身性エリテマトーデス (SLE) 患者におけるベリムブの使用成績調査中間報告.	第66回日本リウマチ学会総会・学術集会, 東京(ハイブリッド); 2022年4月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 豊野修二, 鈴木朱美, 中島拓, 和根崎禎大, 麻生正, 山本尚生, 伊東貴史, 福島重宣, 高木理彰	* KA-TKA後の立位下肢全長X線における下肢機能軸傾斜がjoint line orientationに及ぼす影響.	第14回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会/第48回日本整形外科学会スポーツ医学会学術集会 (JOSKAS-JOSSM 2022), 札幌; 2022年6月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 豊野修二, 鈴木朱美, 中島拓, 和根崎禎大, 麻生正, 山本尚生, 伊東貴史, 福島重宣, 高木理彰	* 前十字靭帯におけるムコイド変性の組織学的評価.	第37回日本整形外科学会基礎学術集会, 宮崎; 2022年10月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 豊野修二, 鈴木朱美, 和根崎禎大, 麻生正, 鮫島健志, 山本尚生, 伊東貴史, 中島拓, 福島重宣, 高木理彰	* Kinematic alignment TKAにおけるJoint line obliquityと術後臨床成績.	第53回日本人工関節学会, 横浜(ライブ 一部オンデマンド); 2023年2月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 永井惇, 村成幸, 宇野智洋, 大石隆太, 結城一声, 高木理彰	* 同一患者における腱板断裂の無症候性側と症候性側身体所見の違い.	第49回日本肩関節学会, 横浜; 2022年10月		B

業績分類			査読	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者 等	論題・章題・演題・学会賞名 等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月 等	Impact Factor ・ JIF QUARTILE (2021)	刊行状況	研究情報備考
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有	中島亜矢子, 渥美達也, 岡本奈美, 高橋伸典, 田村直人, 中島敦夫, 藤井隆夫, 松野博明, 林悦子, 石田篤子, 吉田光宏, 桑名正隆, 高木理彰, 竹内勤	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症を対象としたメボリスマフ製造販売後調査の中間集計結果.	第66回日本リウマチ学会総会・学術集会, 東京 (ハイブリッド); 2022年4月			B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有	中島拓, 鈴木朱美, 豊野修二, 和根崎禎大, 山本尚生, 伊東貴史, 豊島定美, 福島重宣, 高木理彰	* 日本人におけるcoronal plane alignment of the knee classification (CPAK分類).	第14回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会/第48回日本整形外科学会スポーツ医学学術集会 (JOSKAS-JOSSM 2022), 札幌; 2022年6月			B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有	長瀬貴明, 丸山真博, 宇野智洋, 原田幹生, 長瀬紗枝子, 村成幸, 佐竹寛史, 高木理彰	* 2014年と2019年の小学野球肘検診の比較-野球肘の頻度と投手数の変化について-	第14回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会/第48回日本整形外科学会スポーツ医学学術集会 (JOSKAS-JOSSM 2022), 札幌; 2022年6月			B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有	長瀬貴明, 丸山真博, 宇野智洋, 高木理彰	* 2014年と2019年の野球肘検診の比較-小学生と中学生の違い-	第33回日本整形外科学会超音波学会, 広島; 2022年7月			B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有	長瀬紗枝子, 丸山真博, 宇野智洋, 原田幹生, 村成幸, 長瀬貴明, 佐竹寛史, 高木理彰	* 2014年と2019年の中学生に対する野球肘検診の比較.	第14回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会/第48回日本整形外科学会スポーツ医学学術集会 (JOSKAS-JOSSM 2022), 札幌; 2022年6月			B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有	中西凜太郎, 高原政利, 澁谷純一郎, 丸山真博, 佐竹寛史, 高木理彰	* 内反肘変形に対してはめ込み固定法を用いた矯正骨切り術.	第35回日本肘関節学会学術集会, 山形 (ハイブリッド); 2023年2月			B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有	成田亜矢, 寒河江拓盛, 鈴木優太, 高野満夫, 佐々木幹, 金内ゆみ子, 小林真司, 高木理彰	* ロボットを併用した集学的リハビリテーションが有効だったシャルコー・マリー・トゥース病の1例.	第59回日本リハビリテーション医学会学術集会, 横浜; 2022年6月			B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有	成田淳, 岡本純一, 竹内隆二, 和根崎禎大, 麻生正, 高木理彰	* 人工膝関節全置換術後水中運動療法の短期効果.	第14回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会/第48回日本整形外科学会スポーツ医学学術集会 (JOSKAS-JOSSM 2021), 札幌; 2022年6月			B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有	仁藤敏哉, 鈴木朱美, 佐竹寛史, 高窪祐弥, 和根崎禎大, 高木理彰	* 開放性距骨骨折後に発生した距骨無腐性壊死の1例.	第47回日本足の外科学会・学術集会, 愛媛; 2022年11月			B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有	仁藤敏哉, 佐竹寛史, 丸山真博, 花香直美, 澁谷純一郎, 長沼靖, 本間龍介, 石垣大介, 高原政利, 高木理彰	* 傷を伴わない肘関節脱臼の治療成績.	第35回日本肘関節学会学術集会, 山形 (ハイブリッド); 2023年2月			B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有	根本信太郎, 石垣大介, 片山れな, 澁谷純一郎, 加藤義洋, 丸山真博, 佐竹寛史, 高木理彰	* 膿性肘頭滑液包炎の治療成績.	第35回日本肘関節学会学術集会, 山形 (ハイブリッド); 2023年2月			B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有	長谷川浩士, 浅野多聞, 田中賢, 長沼靖, 嶋村之秀, 根本信仁, 土屋匡介, 菅原正登, 高原大一郎, 高木理彰	* 非小細胞肺癌による転移性骨腫瘍に関する臨床研究-チロシンキナーゼ阻害剤投与群と日投与群の比較.	第95回日本整形外科学会学術総会, 神戸; 2022年5月			B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有	花香直美, 高原政利, 佐竹寛史, 高木理彰	* A2の狭窄症腱鞘炎を合併したばね指に対するA2pulley側方進入・側方切開術の治療成績.	第65回日本手外科学会学術集会, 福岡 (ハイブリッド); 2022年4月			B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有	花香直美, 丸山真博, 佐竹寛史, 高木理彰	* 尺骨鉤状突起骨折のRegan-Morrey分類type2とtype3の治療成績.	第35回日本肘関節学会学術集会, 山形 (ハイブリッド); 2023年2月			B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有	濱崎正康, 伊藤重治, 高窪祐弥, 鮫島健志, 門馬亮介, 大木弘治, 佐々木幹, 石井政次, 高木理彰	* 山形大学式polished tapered stem (Double Taper Polish ステム) を用いた人工股関節全置換術の中期成績.	第49回日本股関節学会学術集会, 山形 (ハイブリッド); 2022年10月			B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有	原田幹生, 高原政利, 村成幸, 轟田大作, 結城一声, 高木理彰	* Hand20による肩腱板断裂の主観的評価.	第95回日本整形外科学会学術総会, 神戸; 2022年5月			B

業績分類	査読	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者 等	論題・章題・演題・学会賞名 等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月 等	Impact Factor ・ JIF QUARTILE (2021)	刊行状況	研究情報備考
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 原田幹生, 丸山真博, 宇野智洋, 佐竹寛史, 高原政利, 高木理彰	* ジュニアテニス選手の股関節の柔軟性についての検討-腰痛やパフォーマンスとの関係.	第14回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会/ 第48回日本整形外科学会スポーツ医学学会学術集会 (JOSKAS-JOSSM 2022), 札幌; 2022年6月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 福島重宣, 山本尚生, 伊東貴史, 豊野修二, 中島拓, 鈴木朱美, 高木理彰	* Oxford UKAIにおけるjoint line の再現について.	第14回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会/ 第48回日本整形外科学会スポーツ医学学会学術集会 (JOSKAS-JOSSM 2022), 札幌; 2022年6月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 福島重宣, 山本尚生, 伊東貴史, 豊野修二, 鈴木朱美, 高木理彰	* True Kinematic alignment法によるTKA, UKA, BiUKA.	第71回東日本整形災害外科学会, 東京(ハイブリッド); 2022年9月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 福島重宣, 山本尚生, 伊東貴史, 村中雄治, 豊野修二, 鈴木朱美, 高木理彰	* Kinematic Alignment TKA術後早期に膝蓋骨脱臼を生じ観血的加療を行った2症例.	第53回日本人工関節学会, 横浜(ライブ 一部オンデマンド); 2023年2月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 福島重宣, 山本尚生, 伊東貴史, 村中雄治, 豊野修二, 鈴木朱美, 高木理彰	* Kinematic Alignment TKAの習得時期の違いによる臨床成績の検討.	第53回日本人工関節学会, 横浜(ライブ 一部オンデマンド); 2023年2月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 辺見大剛, 高窪祐弥, 村川美幸, 佐藤寿晃, 石川雅樹, 佐藤美香, 村田田, 鈴木克彦, 高木理彰	人工股関節全置換術後患者における先脚の違いによる浴槽側方またぎ動作の解析.	第49回日本股関節学会学術集会, 山形(ハイブリッド); 2022年10月		A
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 松島得好, 佐藤果菜実, 石黒達郎, 鈴木優太, 寒河江拓盛, 成田亜矢, 茂木紹良	回復期嚥下リハビリテーションにおける補完的栄養ルートの検討.	第59回日本リハビリテーション医学会学術集会, 横浜; 2022年6月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 丸山真博, 佐竹寛史, 本間龍介, 仁藤敏哉, 高木理彰	* 胸郭出口症候群に対し手術を施行した野球選手の肘部管症候群の併発時期と地長について検討.	第65回日本手外科学会学術集会, 福岡(ハイブリッド); 2022年4月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 丸山真博, 宇野智洋, 佐竹寛史, 高原政利, 本間龍介, 高木理彰	* 若手野球選手における肘周辺の尺骨神経障害の手術成績: 術後5年以上経過の検討.	第14回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会/ 第48回日本整形外科学会スポーツ医学学会学術集会 (JOSKAS-JOSSM 2022), 札幌; 2022年6月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 丸山真博, 佐竹寛史, 本間龍介, 宇野智洋, 仁藤敏哉, 高木理彰	* 橈骨頭に生じた離断性骨軟骨炎に1例.	第71回東日本整形災害外科学会, 東京(ハイブリッド); 2022年9月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 宮地隆浩, 中島拓, 松木宏史, 和根崎禎大, 高木理彰	* Mechanical alignment法におけるCPAK分類と術後短期成績.	第53回日本人工関節学会, 横浜(ライブ 一部オンデマンド); 2023年2月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 村中雄治, 福島重宣, 山本尚生, 伊東貴史, 鈴木朱美, 中島拓, 豊野修二, 和根崎禎大, 高木理彰	* 超音波によるTKA切除骨片の軟骨厚評価.	第14回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会/ 第48回日本整形外科学会スポーツ医学学会学術集会 (JOSKAS-JOSSM 2022), 札幌; 2022年6月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 村中雄治, 福島重宣, 山本尚生, 伊東貴史, 中島拓, 鈴木朱美, 豊野修二, 和根崎禎大, 高木理彰	* Kinematic alignment TKAにおける術前後CTAとPF関節適合性.	第53回日本人工関節学会, 横浜(ライブ 一部オンデマンド); 2023年2月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 門馬亮介, 佐々木幹, 伊藤重治, 高窪祐弥, 大木弘治, 石井政次, 川路博之, 浦山安広, 鮫島健志, 高木理彰	* コンポジットビームシステムにおけるステム周囲骨折の特徴と治療の実際について.	第49回日本股関節学会学術集会, 山形(ハイブリッド); 2022年10月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 山本尚生, 福島重宣, 伊東貴史, 鈴木朱美, 中島拓, 豊野修二, 和根崎禎大, 麻生正, 高木理彰	* Kinematic alignment TKA術後の膝蓋大腿関節評価.	第14回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会/ 第48回日本整形外科学会スポーツ医学学会学術集会 (JOSKAS-JOSSM 2022), 札幌; 2022年6月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 山本尚生, 福島重宣, 伊東貴史, 鈴木朱美, 豊野修二, 和根崎禎大, 中島拓, 高木理彰	* 当院における制限なしKA法による術前計画と術中手技.	第53回日本人工関節学会, 横浜(ライブ 一部オンデマンド); 2023年2月		B

業績分類	査読	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者 等	論題・章題・演題・学会賞名 等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月 等	Impact Factor ・ JIF QUARTILE (2021)	刊行状況	研究情報備考
2. 学会報告 (2) 国内学会 iii 一般演題	査読有	梁秀蘭, 高窪祐弥, 本間龍介, 門馬亮介, 長沼靖, 佐々木明子, 大類広, 吉岡信弥, 高木理彰	* COVID-19陽性となった関節リウマチ患者の検討.	第66回日本リウマチ学会総会・学術集会, 東京 (ハイブリッド); 2022年4月			B
2. 学会報告 (2) 国内学会 iii 一般演題	査読有	梁秀蘭, 高窪祐弥, 麻生正, 和根崎禎大, 長瀬紗枝子, 佐々木明子, 吉岡信弥, 高木理彰	* COVID-19ワクチン接種後にリウマチ性多発筋痛症を発症した一例.	第32回日本リウマチ学会北海道・東北支部学術集会, 札幌; 2022年9月			B
2. 学会報告 (2) 国内学会 iii 一般演題	査読有	結城一声, 鈴木朱美, 宇野智洋, 大石隆太, 高木理彰	* 当科における化膿性肩関節炎の近年の発生状況と治療経験.	第14回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会/第48回日本整形外科学会スポーツ医学会学術集会 (JOSKAS-JOSSM 2022), 札幌; 2022年6月			
2. 学会報告 (2) 国内学会 iii 一般演題	査読有	結城一声, 宇野智洋, 大石隆太, 鈴木朱美, 佐竹寛史, 高木理彰	* 70歳以上の鏡視下腱板修復と反転型人工関節の主観的評価の検討.	第49回日本肩関節学会, 横浜; 2022年10月			
2. 学会報告 (2) 国内学会 iii 一般演題	査読有	渡邊忠良, 佐竹寛史, 高木理彰	* 小児指節骨骨折の傾向.	第65回日本手外科学会学術集会, 北九州; 2022年4月			B
2. 学会報告 (2) 国内学会 iii 一般演題	査読有	渡邊忠良, 佐竹寛史, 大塚勝之, 松本宏史, 鶴田大作, 岩崎聖, 遠藤誠一, 宮地隆浩, 渋谷真大, 林雅弘, 高木理彰	* 肘関節周囲二次骨化中心の出現時期と閉鎖時期.	第95回日本整形外科学会学術総会, 神戸; 2022年5月			B
2. 学会報告 (2) 国内学会 iii 一般演題	査読有	和根崎禎大, 鈴木朱美, 中島拓, 豊野修二, 五十嵐貴宏, 麻生正, 高木理彰	* 人工膝関節全置換術前後における足部のアライメントと臨床スコアの変化.	第14回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会/第48回日本整形外科学会スポーツ医学会学術集会 (JOSKAS-JOSSM 2022), 札幌; 2022年6月			B
2. 学会報告 (2) 国内学会 iii 一般演題	査読有	和根崎禎大, 鈴木朱美, 高窪祐弥, 佐竹寛史, 針生光博, 石垣大介, 高木理彰	* 人工関節全置換術前後における足部のアライメントとスコアの変化.	第47回日本足の外科学会・学術集会, 愛媛; 2022年11月			B
2. 学会報告 (2) 国内学会 iii 一般演題	査読有	和根崎禎大, 鈴木朱美, 高窪祐弥, 中島拓, 豊野修二, 五十嵐貴宏, 麻生正, 鮫島健志, 高木理彰	* 人工膝関節全置換術における後足部アライメントの重要性.	第53回日本人工関節学会, 横浜(ライブ 一部オンデマンド); 2023年2月			B
2. 学会報告 (2) 国内学会 iii 一般演題	査読有	結城一声, 宇野智洋, 大石隆太, 鈴木朱美, 佐竹寛史, 高木理彰	* 関節窩骨欠損に対し3Dモデルの術前模擬手術により同種骨移植と楔状ベースプレートを使い分け反転型人工肩関節置換術を行った2例.	第53回日本人工関節学会, 横浜(ライブ 一部オンデマンド); 2023年2月			
2. 学会報告 (3) 国内地方会 ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等		伊藤重治, 高窪祐弥, 門馬亮介, 鮫島健志, 高橋健大, 大木弘治, 佐々木幹, 石井政次, 高木理彰	* 当院における80歳以上に対する人工関節全置換術の年次推移と術後成績.	第119回東北整形災害外科学会, 仙台(ハイブリッド); 2022年6月			B
2. 学会報告 (3) 国内地方会 ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等		菅原正登, 田中賢, 高原大一郎, 白井千緒海, 矢野亜希子, 菅剛史, 福田憲扇, 菊池憲明, 浅野多聞, 高木理彰	* 腫瘍用人工関節の感染に対して遊離広背筋皮弁で二期的に再建した2例.	第119回東北整形災害外科学会, 仙台(ハイブリッド); 2022年6月			B
2. 学会報告 (3) 国内地方会 ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等		鈴木朱美, 中島拓, 豊野修二, 和根崎禎大, 佐竹寛史, 高窪祐弥, 石垣大介, 高木理彰	* 外反母趾に対する手術治療法の選択.	第119回東北整形災害外科学会, 仙台(ハイブリッド); 2022年6月			B
2. 学会報告 (3) 国内地方会 ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等		鈴木智人, 嶋村之秀, 赤羽武, 寒河江拓盛, 高木理彰	* 脊椎手術の低侵襲化と術中・術後の合併症予防の山形大学での取り組み.	第119回東北整形災害外科学会, 仙台(ハイブリッド); 2022年6月			B

業績分類	査読	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者 等	論題・章題・演題・学会賞名 等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月 等	Impact Factor ・ JIF QUARTILE (2021)	刊行状況	研究情報備考
2. 学会報告	(3) 国内地方会	ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	高木理彰	リウマチ患者さんを診ようーリウマチ学のすすめー	第119回東北整形災害外科学会, 仙台(ハイブリッド); 2022年6月		
2. 学会報告	(3) 国内地方会	iii 一般演題	査読有 赤羽武, 鈴木智人, 寒河江拓盛, 高木理彰	* 外傷性胸腰椎椎体骨折に対する経皮的脊椎後方的固定術の固定椎間数の検討-術前CTハンスフィールド値の有用性-	第119回東北整形災害外科学会, 仙台(ハイブリッド); 2022年6月		
2. 学会報告	(3) 国内地方会	iii 一般演題	査読有 寒河江拓盛, 茂木紹良, 松島得好, 高窪祐弥, 高木理彰	* 大腿骨近位部骨折術後回復期における嚥下機能障害の実態と治療.	第52回日本リハビリテーション医学会東北地方会専門医・認定臨床医生涯教育研修, 山形; 2022年10月		B
2. 学会報告	(3) 国内地方会	iii 一般演題	査読有 佐竹寛史, 本間龍介, 丸山真博, 仁藤敏哉, 高木理彰	* 音楽家の手の障害にコロナゼパムが有効であった1例.	第119回東北整形災害外科学会, 仙台(ハイブリッド); 2022年6月		B
2. 学会報告	(3) 国内地方会	iii 一般演題	査読有 嶋村之秀, 長谷川浩士, 鈴木智人, 赤羽武, 高木理彰	* 頸椎椎弓根スクリューの刺入精度の検討~シリンジ法を用いてX線透視のみで刺入~.	第119回東北整形災害外科学会, 仙台(ハイブリッド); 2022年6月		B
2. 学会報告	(3) 国内地方会	iii 一般演題	査読有 鈴木幸大, 原田幹生, 浦山安広, 高木理彰	学童期柔道選手の開放性母趾IP関節外側側副靭帯断裂の1例.	第119回東北整形災害外科学会, 仙台(ハイブリッド); 2022年6月		B
2. 学会報告	(3) 国内地方会	iii 一般演題	査読有 高野満夫, 渡邊忠良, 成田亜矢, 寒河江拓盛, 高窪祐弥, 高木理彰	* 小児療育後の脳性麻痺患者診療への取り組み.	第52回日本リハビリテーション医学会東北地方会専門医・認定臨床医生涯教育研修, 山形; 2022年10月		B
2. 学会報告	(3) 国内地方会	iii 一般演題	査読有 成田淳, 竹内隆二, 岡本純一, 麻生正, 千葉克司, 内海秀明, 長谷川浩士, 嶋村之秀, 鈴木智人, 高木理彰, 武井寛, 杉田誠	* 当院における脊椎外傷への対応ー脊椎外科医不在施設における現状ー.	第119回東北整形災害外科学会, 仙台(ハイブリッド); 2022年6月		B
2. 学会報告	(3) 国内地方会	iii 一般演題	査読有 平野れな, 小関和彦, 澁谷純一郎, 平山朋幸, 高原政利, 太田吉雄, 根本忠信, 高木理彰	後距踵関節面の脱臼骨片を伴った腫骨開放骨折の1例.	第119回東北整形災害外科学会, 仙台(ハイブリッド); 2022年6月		B
2. 学会報告	(3) 国内地方会	iii 一般演題	査読有 三上諒樹, 高窪祐弥, 本間龍介, 梁秀蘭, 門馬亮介, 和根崎禎大, 大類広, 高木理彰	* 当院の関節リウマチ患者に対するJAK阻害剤導入1年後のHAQの検討.	第119回東北整形災害外科学会, 仙台(ハイブリッド); 2022年6月		B
2. 学会報告	(3) 国内地方会	iii 一般演題	査読有 中山翔太, 深田朋希, 結城一声, 宇野智洋, 大石隆太, 鈴木朱美, 佐竹寛史, 高木理彰	* 大学生ハンドボール選手に対する肩甲胸郭ストレッチと肩腱板訓練の効果.	第119回東北整形災害外科学会, 仙台(ハイブリッド); 2022年6月		B
2. 学会報告	(3) 国内地方会	iii 一般演題	査読有 村上成人, 杉田誠, 豊島定美, 土田浩之, 武井寛, 鈴木智人, 高木理彰	* びまん性突発性骨増殖症 (DISH) を合併する第12胸椎椎体骨折に対して保存療法で骨癒合が得られた1例.	第119回東北整形災害外科学会, 仙台(ハイブリッド); 2022年6月		B
2. 学会報告	(3) 国内地方会	iii 一般演題	査読有 和根崎禎大, 鈴木朱美, 高窪祐弥, 中島拓, 豊野修二, 五十嵐貴宏, 麻生正	* 人工膝関節全置換術における後足部アラメントの重要性.	第119回東北整形災害外科学会, 仙台(ハイブリッド); 2022年6月		B
2. 学会報告	(4) 研究会	iii 一般演題	査読有 佐竹寛史, 仁藤敏哉, 丸山真博, 宇野智洋, 花香直美, 高木理彰	* 胸郭出口症候群に対する分離肺換気による内視鏡下第1肋骨切除術.	第37回東日本手外科研究会, 秋田; 2023年1月		B
2. 学会報告	(4) 研究会	iii 一般演題	査読有 原田幹生, 丸山真博, 宇野智洋, 佐竹寛史, 高原政利, 高木理彰	* ジュニアテニス選手の股関節の柔軟性についての検討-腰痛やパフォーマンスとの関係.	第11回日本テニス・スポーツ医学研究会, 徳島; 2022年5月		B
2. 学会報告	(4) 研究会	iii 一般演題	査読有 山本尚生, 福島重宣, 伊東貴史, 鈴木朱美, 中島拓, 豊野修二, 和根崎禎大, 高木理彰	* Calipered technique を用いた Kinematic alignment 法による人工膝関節全置換術の術後1年成績.	東北膝関節研究会, 宮城; 2022年7月		B

業績分類	査読	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者等	論題・章題・演題・学会賞名等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月等	Impact Factor ・ JIF QUARTILE (2021)	刊行状況	研究情報備考
2. 学会報告 (4) 研究会 iii 一般演題	査読無	辺見大剛、村川美幸、佐藤寿晃、石川雅樹、佐藤美香、村田宙、鈴木克彦、高窪祐弥、高木理彰	人工股関節全置換術後患者における先脚の違いによる浴槽側方またぎ動作の解析	第39回山形形態機能研究会, 山形; 2022年12月			B
2. 学会報告 (4) 研究会 iii 一般演題	査読無	大森允、有本貴範、沓澤大輔、高窪祐弥、村川美幸、石川雅樹、佐々木健、荒川忍、渡辺昌文、高木理彰	急性期心臓リハビリテーションと地域連携	第21回山形心臓リハビリテーション研究会, 山形; 2022. 5月			
3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催	査読無	村川美幸	関節リウマチ患者に対するリハビリテーション～SARAHエクササイズプログラム～	県南リウマチセミナー, 宮城; 2022年5月			
3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催	査読無	村川美幸	関節リウマチ患者に対するリハビリテーション～手に有用なSARAHエクササイズプログラムの実際～	リウマチ診療セミナー, 山形; 2022年12月			
3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催	査読無	村川美幸	「やまがたJRAT」のリハビリテーション災害支援活動	2022年度福島JRAT講習会, 福島; 2023年, 2月			
3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催	査読無	村川美幸	関節リウマチ患者に対するSARAHエクササイズプログラム	東北リウマチ医の会, 山形; 2023年2月			
6. その他	査読無	千葉寛之	新生児聴覚スクリーニングと精密聴力検査	図解 言語聴覚療法技術ガイド 第2版: 631-634. 東京; 文光堂, 2022年11月			